

令和 8 年 7 月 16 日

会 議 録

審 議 会 等 の 名 称	令和 8 年度 第 1 回函南町食育推進委員会
庶務を担当する所属	健康づくり課
会 議 の 開 催 の 日 時	令和 8 年 6 月 26 日（金） 午前 ・午後 10 時～11 時 50 分
会 議 の 開 催 場 所	函南町保健福祉センター 2 階ボランティアビューロー
出席者（職・氏名）	函南町食育推進委員 10 名 日本大学短期大学部教授 佐藤委員長 小中学校長代表 高橋副委員長 幼稚園長会代表 野澤委員 小中学校栄養士代表 西島委員 かなみ女性の会会長 渡邊委員 保健委員会会長 戸田委員 食生活改善推進協議会会長 加藤委員 一 般 公 募 神尾委員 子育て支援課長 大川委員 東部健康福祉センター 鈴木委員 事務局 厚生部長 加藤 健康づくり課 課長 田中、係長 猪ノ原、 主任栄養士 緒方、栄養士 小林
議 題	（１）令和 7 年度食育推進事業実績報告について （２）令和 8 年度食育推進事業計画について （３）朝ごはんレシピ集作成について
審 議 内 容	（１）令和 7 年度食育推進事業実績報告について 関係課、関係団体、小中学校、幼稚園、保育園、 こども園の実績報告 ＜質疑応答＞ 高橋副委員長 30 代男性の朝食摂取率が約 5 割なのに驚 き、保護者世代の低い朝食摂取率と子ども の孤食率増加の背景分析を求める。 現在の食育は園児・小学生が中心で、30 代前後の保護者への直接アプローチが少 なく、忙しい子育て世代向けの食育も必要 と指摘。 事務局 詳細分析は未実施だが、今後 20～30 代へ の効果的なアプローチを検討。 幼稚園の朝ごはん教室で孤食の現状や家

	族で食卓を囲む重要性を保護者にも伝えている。 ＜異議なく承認＞ （２）令和８年度食育推進事業計画について 関係課、関係団体、小中学校、幼稚園、保育園、こども園の事業計画説明 ＜質疑応答＞ 佐藤委員長 協力団体名（県立高校、地域団体など）を資料で明確に示し、新たな団体との連携も進めてほしい。 事務局 そのように対応していく。 渡邊委員 高齢者にはタンパク質摂取や認知症・フレイル予防が重要。もっと取り上げるべき。 事務局 高齢者対象事業では、フレイル予防や低栄養予防のためタンパク質摂取を重点的に指導している。 鈴木委員 野菜摂取不足が全国的課題で、静岡県では脳血管疾患予防のため野菜摂取を重視しているため、資料に野菜摂取に関する記載が多いと推察。 ＜異議なく承認＞ （３）朝ごはんレシピ集作成について 【事務局】資料に基づき説明 ＜質疑応答＞ 渡邊委員 一般の人には栄養価の記入が難しいのではないか。 事務局 栄養士がいる施設は計算を依頼、一般の分は事務局が計算する。 鈴木委員 表紙が一目でレシピ集と分かりにくい。分かりやすく改善すべき。 事務局 表紙デザインを見直す。 ＜異議なく承認＞
備 考	傍聴者なし